

Cisco TelePresence 1100

Cisco TelePresence™ ポートフォリオは、臨場感あふれるフェイスツーフェイスの会議環境をネットワーク経由で実現するソリューションです。これまでにない形のコラボレーションが可能になります。

最先端のテクノロジーと優れた設計によって実現した Cisco TelePresence を利用すれば、離れた場所にいる参加者も自分と同じ会議室にいるように感じられます。Cisco TelePresence は、生産性の大幅な向上とビジネスを変革させる可能性を秘めています。多くの組織がすでにこのソリューションを採用しており、コスト管理、意思決定時間の短縮、顧客との親密度の向上、少ないリソースの有効活用、製品の市場投入までの時間の短縮といった効果を上げています。

Cisco TelePresence ポートフォリオは、次のようにさまざまなエンドポイント モデルで構成されており、多様な会議のニーズに応えることができます。

- Cisco TelePresence System 500 は、1 ～ 2 名で使用するよう設計されています。Cisco TelePresence の仮想対面体験をそのまま個人オフィスに導入できます。
- Cisco TelePresence System 1000 は、少人数のグループ会議や一対一の会話に適しています。
- Cisco TelePresence System 1100 は、多目的会議室での少人数のグループ会議や一対一の会話向けに設計されています。
- Cisco TelePresence System 1300 シリーズは、多目的会議室でのグループ会議向けに設計されています。
- Cisco TelePresence System 3000 は、ビジネス会議に適しており、1 室あたりの参加者は最大 6 名です。
- Cisco TelePresence System 3200 は、大規模なグループ会議に適しており、1 室あたりの参加者は最大 18 名です。

Cisco TelePresence ソリューションを使用することで、これらのエンドポイントでは会議のスケジューリングや設定が容易にでき、スケーラブルで遅延のないマルチポイント会議や安全な企業間コミュニケーションが実現します。また、多くの魅力的なコラボレーション アプリケーションが利用できるため、さまざまな種類の会議や高解像度 (HD) でのブロードキャスト、産業用アプリケーションにも対応します。

このデータシートでは、Cisco TelePresence System 1100 (図 1) について説明します。

図 1 Cisco TelePresence System 1100



製品の概要

Cisco TelePresence は、実物大の超高解像度ビデオ画像(1080p)、高品質の音声、特別に設計された環境と対話のための要素を組み合わせ、遠隔地にいる参加者との会議で「直接対面」しているような感覚を作り出します。この使いやすいシンプルなソリューションによって、参加者はテクノロジーではなくミーティングに集中でき、自然で効果的なコミュニケーションを行うことができます。

Cisco TelePresence が提供する直接対面の体験により、遠隔地のグループや個人とのコミュニケーションが改善され、顧客、サプライヤ、パートナーとの関係が密になり、また製品化までの時間が短縮されることでビジネスの変革が実現します。このような利点は、すべての業種およびすべての規模の組織にもたらされます。

Cisco TelePresence System 1100 では、各サイドの仮想テーブルに 1 ～ 2 名の参加者が着席でき、マルチポイント会議においては最大で 48 のロケーションをサポートします。また、65 インチのプラズマ スクリーン、スピーカー、エコー キャンセレーション機能の付いたマイク、照明、および少規模グループ用に特別に調整された超高解像度コーデックとカメラが統合され、ユーザ エクスペリエンスが最適化されます。Cisco TelePresence System 1100 には音声会議、Cisco Digital Media Player、およびリッチ メディア ディスプレイへのビルトイン サポートを装備しているため、快適な会議をいつでもすぐに開催することができます。

用途

Cisco TelePresence System 1100 は、顧客とのミーティング、小規模なプレゼンテーション、および遠隔地の従業員やパートナーとの一対一の会議、またはより大規模な Cisco TelePresence マルチポイント会議への参加に適しています。このシステムは、Cisco TelePresence 会議から音声会議への切り替えが容易にでき、画面を使用してデータとリッチ メディアを共有することができる多目的システムです。

さまざまな機能が使いやすく一体化され、最適化されており、ボタンを押すだけで会議のスケジューリングや開始、録画、Cisco TelePresence Expert on Demand や Cisco TelePresence Interoperability、HealthPresence など、他のソリューションの利用も可能です。このようなアプリケーションに必要とされる信頼性、QoS(Quality Of Service)、およびセキュリティはシスコのハイアベイラビリティ ネットワークによって提供され、ユーザは社内ミーティングと顧客とのミーティングの両方に安心して使用できます。

さらに、Cisco TelePresence System 1100 は他の Cisco TelePresence ポートフォリオとシームレスに統合されているため、次のような高品質の Cisco TelePresence 環境を実現できます。

- 解像度 720p と 1080p の高画質ビデオを提供します。
- 特別に設計された高解像度カメラによって高品質の鮮明な画像が提供されるため、相手と視線を合わせることができます。ユーザの操作は不要です。
- 全二重方式によって CD 品質の音声を提供され、気になる遅延も発生せず、モバイル デバイスや携帯電話からの干渉ありません。
- 照明と音響の品質が最適化されています。
- Cisco TelePresence のエンドポイントの任意の組み合わせによる、最大 48 か所のマルチポイント会議がサポートされます。
- 企業用の一般的な予定表プログラムと統合でき、ボタンを押すだけで容易に会議の開始と管理ができます。
- アドホック会議がサポートされており、Cisco TelePresence エンドポイントが設置されていればどこでも、電話をかけるだけで即座に会議を開始できます。
- ネットワークとの統合によって高い信頼性、アベイラビリティ、セキュリティ、QoS が確保され、いつでも快適な会議が可能です。ビデオと通話シグナリングの両方が暗号化されるため、通信のセキュリティが強化されます。
- 標準解像度および高解像度ビデオ エンドポイントとの任意間 (any-to-any) 相互運用、Cisco WebEx™ 会議アプリケーションや Cisco Digital Media System などのデスクトップ ビデオ アプリケーションとのコラボレーションが可能です。
- 企業間および社内において、安全で信頼性の高い会議が可能です。Cisco TelePresence を導入した公共の会議施設とつなぐことも可能です。

Cisco TelePresence の設計が持つ利点に加えて、Cisco TelePresence System 1100 は表 1 に示す革新的な機能と利点を備えています。

表 1 Cisco TelePresence System 1100 の機能と利点

機能	利点
多目的会議室にいる参加者 2 人に最適化	• 小会議室の改築や建設コストを最小限に抑える無駄のないデザイン • 実物大で表示できる臨場感あふれる 65 インチ ディスプレイ • システムを使用しないときには、本来の多目的会議室として機能
会議ですぐに利用できる内蔵型オーディオ ビジュアル 機能	• Cisco TelePresence 会議、音声会議、プレゼンテーション用ローカル会議のいずれの場合も、1 台の Cisco IP Phone とデータ ケーブルのプラグを差し込むだけで容易に会議を開始できる • 音声会議**、ローカルにおけるデータ プレゼンテーション、および Cisco Digital Media Player をサポート • Cisco TelePresence 会議として使用しないときは、システムを生産性向上ツールとして利用できる
優れた音声/ビデオ品質	• 大規模なマルチポイント会議、一対一の親密な会議、高解像度ビデオ録画のいずれの場合においても、エンドポイントに Cisco TelePresence 体験を提供できる • 他の Cisco TelePresence エンドポイント製品と同じ品質の仮想会議室体験を実現
補助グラフィック ディスプレイの接続*	• データまたはグラフィック コンテンツを別の補助ディスプレイに表示、または Presentation-In-Picture (PIP) モードで表示できる • Cisco TelePresence 会議として使用していないときはプレゼンテーション モニタとして利用できる

* シスコではグラフィック ディスプレイおよび取り付け用部品は用意していません。データ ディスプレイのオプションについては、Cisco TelePresence パートナーにお問い合わせください。

** 音声アドインがサポートされています。テーブル マイクロフォンの完全対応は、今後のリリースでサポートされる予定です。

表 2 に Cisco TelePresence ソリューション全体の機能と利点を示します。

表 2 Cisco TelePresence ポートフォリオの機能と利点

機能	説明
相互運用性のサポート	Cisco TelePresence システムは、ビデオ会議および他社のテレプレゼンス製品の両方において、標準画質の H.323 ビデオ会議システムおよびその他の HD エンドポイント製品と相互運用できます。この相互運用性によって既存の投資を保護することができ、さらに Cisco TelePresence System との通信が可能なビデオ会議のエンドポイント数を大幅に増やせます。
Cisco TelePresence Recording Studio	この機能により、Cisco TelePresence System を高解像度のレコーディング スタジオとして使用できます。既存の Cisco TelePresence IP Phone の直感的ユーザ インターフェイスを使用して高品質ビデオを録画し、鮮明で臨場感あふれるメッセージを社内および社外向けのコミュニケーション、トレーニング、危機管理などに利用できます。ビデオ コンテンツの表示や配信は容易にでき、録画内容は Cisco TelePresence エンドポイント製品または標準のブラウザベースのプレーヤーで再生できます。
Cisco TelePresence Extended Reach	最適化された 720p Cisco TelePresence モードは、1 画面あたりの転送 (T1/E1) 速度が 1.5 Mbps という低速の広帯域幅接続に適しています。このシステムは、遅延やパケット損失を防止する一方で、遠隔地のオフィスや在宅勤務者向けには制約された帯域幅オプションを提供します。
Cisco TelePresence Event Controls	イベントや会議のカスタマイズ用に、標準および高度なマルチポイント制御を提供する Web ベースのインターフェイスです。
Cisco TelePresence Expert on Demand	Cisco TelePresence システムは、シスコ ユニファイド コミュニケーションおよび Cisco Unified Contact Center との統合が可能で、対面型のカスタマー サービスおよび店頭でのサービスを提供できます。
ネットワーク適応型の帯域幅使用	Cisco TelePresence System では、720p または 1080p の解像度をサポートしており、ネットワーク帯域幅の消費を最適化するために 3 つの画質レベルを提供しています。変動する帯域幅消費量 (設定可能) に対応して、1 画面あたり 2 ~ 5 Mbps の複数の異なる帯域幅レベルで動作するため、Cisco TelePresence 環境を最大限に活用し、同時にフレーム レートと低遅延を維持し、パケット損失を低減します。このシステムは既存のすべてのインストール、展開、および運用サービスでサポートされます。
短縮ダイヤルおよびディレクトリ	Cisco TelePresence ソリューションでは、便利な短縮ダイヤルを最大 40 件登録できます。また、Cisco Unified Communications Manager の総合ディレクトリ サービスと統合すれば、数千件ものディレクトリ エントリの検索が可能です。
設定	管理者は Web ベースのインターフェイスを使用して安全にシステムにログインし、Cisco TelePresence システムの構成に変更を加えることができます。
スケジューリング サービス	電子メールによる予定表機能や Web 対応アプリケーションからのスケジューリング サービスを利用できます。この機能を使用するには、Cisco TelePresence Manager サーバをインストールして、予定表や電子メールのアプリケーションと連携するように設定する必要があります。
ミュートと保留	ミュートと保留機能がサポートされています。これらの機能は、Cisco IP Phone から制御します。
ギガビット イーサネット スイッチ	シスコ ギガビット イーサネット スイッチが内蔵されているため、10/100/1000 BASE-T イーサネット ネットワークに RJ-45 インターフェイスを介して直接接続できます。1 つの LAN 接続で、Cisco TelePresence システムと、同じ場所にある Cisco Unified IP Phone 7975G およびイーサネット接続された PC の両方に接続できます。PC 用と Cisco IP Phone 用にそれぞれ別の VLAN (802.1Q) を指定すれば、音声およびデータトラフィックのセキュリティと信頼性が向上します。
音量調節	電話機にある便利な音量調節ボタンを使用して簡単に調節できます。
音声ミュート	Cisco IP Phone のミュート機能がオンになったことを示すインジケータが画面上に表示されます。
ビデオ ミュート	保留/再開ボタンを押すとビデオと音声のミュート機能が切り替わります。内密な話をするときに Cisco TelePresence システムを保留状態にすることができます。
Cisco TelePresence Auto Collaborate	このシスコの最新技術を利用すれば、ノート PC などのデバイスを接続するだけで、同じ情報や画像をすぐに全会議室にいる人が見て共有できます。
Cisco TelePresence フレーム レート Auto Collaborate	オプションで、データ チャネル専用のプレゼンテーション コーデックが用意されており、Auto Collaborate データ チャネル上でフルモーション (30 fps) グラフィックスやマルチメディア コンテンツを利用できます。
ダイヤリング ボタン	手動でもアドレス帳からでもダイヤルできる便利なボタンです。
マルチポイント サポート	Cisco TelePresence Multipoint Switch を使用すれば、Cisco TelePresence システムをマルチポイント会議に参加させることができます。
暗号化	Cisco TelePresence はあらゆるメディアおよびシグナリング暗号化をサポートし、最大 48 セグメントの Cisco TelePresence 会議において、認識できる遅延は発生しません。また会議の暗号化のレベルを、保護なし、ベスト エフォートの保護、および常時保護の中から指定することができます。会議の暗号化ステータスは会議の開始時、またはステータスの変更時に画面に表示されるほか、常に電話上に表示されます。

Power over Ethernet(PoE)による高解像度カメラと Cisco Unified IP Phone 7975G への電力供給	シスコの高解像度カメラと Cisco Unified IP Phone 7975G は、Cisco TelePresence コーデックに組み込まれた Cisco IEEE 803.3af PoE スイッチから LAN 経由で電力供給を受けます。
Cisco TelePresence 呼び出し音	Cisco TelePresence システムでは、システム動作とユーザ通知用に、標準的な呼び出し音と話中音をサポートしています。
Americans with Disabilities Act(ADA)機能	Cisco Unified IP Phone 7970G および 7975G モデルのダイヤルパッドは ADA 準拠です。
U.S. Section 508 の機能	Cisco Unified IP Phone 7975G のダイヤルパッドは、U.S. Section 508 のガイドラインに適合しています。触感でホーム キーを識別できるように、ダイヤルパッドの 5 のキーに突起が付いています。アクセシビリティに関するその他の機能については、次の URL から U.S. Section 508 VPAT (Voluntary Product Accessibility Template) を入手してください。 http://www.cisco.com/go/accessibility (英語)
シグナリングプロトコルのサポート	Cisco Unified Communications Manager で Session Initiation Protocol (SIP) をサポートしています。
音声コーデックのサポート	G.711 および Advanced Audio Coding with Low Delay (AAC-LD) の音声圧縮コーデックが利用できます。
設定オプション	IP アドレスを静的に割り当てることも、Cisco TelePresence 管理者用 Web インターフェイスで設定することもできます。
システム照明	照明装置がソリューションの一部として組み込まれています。顔に影を作らず、自然なビデオ映りになります。強いスタジオ照明やメイクアップは不要です。照明は、Cisco TelePresence 会議が開始すると点灯します。
システム照明の制御	Cisco TelePresence システムの一部である照明装置は、Cisco TelePresence 会議または通常就業時間に連動してオンとオフを切り替えることができます。この機能によって電力消費が削減され、全体的に「より環境に配慮した」ソリューションになります。

製品の仕様

表 3 ～ 5 に Cisco TelePresence System 1100 の仕様を、表 6 に定格温度を示します。

表 3 製品の仕様

仕様	説明
製品の互換性*	• Cisco TelePresence System 500 (Cisco TelePresence System ソフトウェアバージョン 1.5 以降) • Cisco TelePresence System 1000 (Cisco TelePresence System ソフトウェアバージョン 1.5 以降) • Cisco TelePresence System 1300 (Cisco TelePresence System ソフトウェアバージョン 1.5 以降) • Cisco TelePresence System 3000 (Cisco TelePresence System ソフトウェアバージョン 1.5 以降) • Cisco TelePresence System 3200 (Cisco TelePresence System ソフトウェアバージョン 1.5 以降) • Cisco Unified Communications Manager 6.1 または 7.0 以降 • Cisco TelePresence Multipoint Switch 1.5 以降 • Cisco TelePresence Manager 1.5 以降
ソフトウェアの互換性*	Cisco TelePresence System ソフトウェア バージョン 1.5 以降
プロトコル	Cisco Discovery Protocol、SIP、IP、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP)、Secure Shell (SSH) プロトコル、802.1p/q、Real-Time Transport Protocol (RTP)
接続性	イーサネット (LAN × 1、RJ-45 接続、100/1000 Mbps)、内蔵 4 ポートイーサネットスイッチ、高解像度ビデオコネクタ
プログラミング インターフェイス	Web ベースのユーザ インターフェイス (IP アドレスを静的に割り当てることも、Cisco TelePresence 管理者用 Web インターフェイスで設定することも可能)
物理寸法 (高さ × 幅 × 奥行)	壁面取り付け: 196.7 × 203.2 × 19.1 cm (77.4 × 80 × 7.5 インチ)
重量	約 272 kg (600 ポンド、貨物重量)
電源	Cisco TelePresence システム (標準): 986 W (8.3 A @ 120 V)

表 4 ビデオおよび音声の仕様

仕様	説明
消費帯域幅	IP QoS 接続の推奨値: 3 ~ 4 Mbps (1080p) または 1 ~ 3 Mbps (720p)。 注: Cisco TelePresence System 1100 の帯域幅推奨値は Cisco TelePresence System 1000 と同一です。
ビデオ規格	H.264
ビデオ フレーム レート	30 フレーム/秒 (H.264 を使用)
データ/グラフィック フレーム レート	- グラフィック共有: 5 フレーム/秒 (標準構成) - オプションのグラフィック共有: 30 フレーム/秒 (専用のプレゼンテーションコーデックを使用)
ネイティブ National Television Standards Committee (NTSC)	720p および 1080p
解像度	1920 × 1080 ネイティブ
音声規格	G.711 および AAC-LD (22 kHz)
音声機能	シスコ ダイナミック エコー キャンセレーション
Cisco TelePresence 高解像度カメラ	- Complementary Metal Oxide Semiconductor (CMOS) 2/3 インチ センサー - C マウント レンズ 1080p 30 fps - 最小照度 300 ルクス - 手動フォーカス
H.264 相互運用性	Cisco Unified Video Conferencing 3500 シリーズ プラットフォームで、Common Intermediate Format (CIF) および G.711 を使用

表 5 その他の仕様

仕様	説明
ファームウェア アップグレード	Cisco Unified Communications Manager からダウンロード可能
ビデオ ネットワーク機能	ビデオ伝送のパケット損失をインテリジェントに回復
ネットワーク インターフェイス	- LAN/イーサネット (RJ-45) × 1、100/1000 Mbps 4 ポート イーサネット スイッチを内蔵、コーデック上に PoE (IEEE 802.3af) ポート 2 個

表 6 定格温度

温度	説明
オフィスの動作温度	5 ~ 35°C (41 ~ 95°F)
相対湿度	10 ~ 95% (結露しないこと)
適合規格	- CE マーキング - UL/CSA/IEC/EN/AS/NZS/60950 47CFR Part 15 Class A - CISPR22/EN55022 Class A

発注情報

シスコ製品の購入方法については、「[購入案内](#)」および表 7 を参照してください。

表 7 発注情報

製品名	製品番号
Cisco TelePresence System 1100	CTS-1100
Cisco TelePresence System 1100 の発注オプション	
電源コード	Cisco TelePresence システムを設置する国の電源コンセントに差し込める電源コードを選択します。
プレゼンテーション コーデック	CTS-HFR-COLLAB 高フレーム レートの Auto Collaboration を利用できるように専用のプレゼンテーション コーデックを追加するための有料オプションです。

シスコのサービス

革新的な Cisco TelePresence 環境を実現するには、シスコが認定パートナーと共に提供する統合されたライフサイクル サービスが不可欠です。このサービスは複数の拠点を持つ組織を対象としており、Cisco TelePresence の適正な導入を促進し、品質および信頼性に優れ、相手と直接顔を合わせているような Cisco TelePresence 環境の実現を支援します。

初期の準備、計画、および設計のサービスを通してお客様のネットワークと組織の準備を整えることで、常に一定の品質レベルで Cisco TelePresence 環境を実現できるようになります。また、IT スタッフの負担を減らして TelePresence の継続的な利用を可能にする運用サービスも提供しています。重要な Day 2 メンテナンス サポート、リモート監視と管理、およびリモート アシスタンス サービスによって、アベイラビリティを高めます。Cisco TelePresence をご利用いただくためのこれらのサービスには、シスコの実績あるライフサイクル サービス アプローチが採用されています。詳細については、<http://www.cisco.com/jp/go/telepresenceservices/> をご覧ください。

関連情報

Cisco TelePresence System 1100 の詳細については、<http://www.cisco.com/jp/go/telepresence/> をご覧いただくか、最寄りのシスコの代理店またはシスコ認定パートナーまでお問い合わせください。

注：製品仕様は概算値であり、予告なく変更される場合があります。

©2009 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

お問い合わせ先